

2022 SUPER FORMULA Round.4

All Photographs by Noriaki MITSUHASHI, N-RAK PHOTO AGENCY

AUTOPOLIS



全日本スーパーフォーミュラ選手権 2022 第4戦
2022年5月21日(土)～22日(日)
オートポリス(大分県)

土曜フリー走行

5月21日(土) 天候:曇り 路面:ウエット/ドライ

4月23日(土)～24日(日)に鈴鹿サーキットで開催された第3戦では、浮上のきっかけをつかみながらも、不安定な天候に翻弄され結果を残すことができなかった docomo business ROOKIE と大嶋和也。明らかに向上しているパフォーマンスを結果に繋げべく挑む第3戦の舞台は、大分県日田市のオートポリス。阿蘇の山間に設けられたアップダウンの大きなコースだが、大嶋にとってはこれまでのスーパーフォーミュラのキャリアで多くの好結果を残してきた、非常に相性が良いサーキットだ。

迎えた5月21日(土)の予選日は、事前の天気予報では雨の予報はなかったものの、早朝に雨が舞い、コース上は濡れた部分が残るなかで午前9時40分からのフリー走行を迎えた。レコードライン上は少しずつ乾きはじめ

てはいたものの、大嶋はウエットタイヤを履きコースイン。まずは周回を重ねセッティングを進めていった。

開始から15分も過ぎるころになると、さらに路面も乾きはじめたことから、大嶋もライバルたちに続きスリックタイヤに交換。ピットアウト～インを繰り返しながらセッティングを行っていった。フィーリングも「悪くないですし、そこそこのフィーリング。少しフロントのグリップ感が足りない」状況で、タイムもトップ10をうかがえる。そんななか、フリー走行開始から53分というところで、#65 大湯都史樹がクラッシュしたため、セッションは一度赤旗中断となった。

再開後も大嶋はセッティングを進めていき、終盤にはニュータイヤを装着しアタックラップのシミュレーションを展開していく。残り1分ほどのタ

イミングでは、下りストレート先の右コーナーで#5 牧野任祐がクラッシュするものの、赤旗は出ずチェッカーまでセッションが進んだ。

ここで大嶋は1分25秒658とい

うベストタイムをマークし、13番手でセッションを終えることに。宿願でもある午後の公式予選でのQ2進出に向け、ある程度の手ごたえを得ながらフリー走行を締めくくった。



土曜公式予選

5月21日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ



迎えた午後2時50分からの公式予選。フリー走行からフィーリングは悪くなく、決勝に繋げるためにも、なんとしても宿願のQ2進出を果たしたい。大嶋は気合十分で予選Q1のA組から出走すると、まず一度ユーズドタイヤでコースインした後、ピットへ戻りアタックのタイミングを見計らう。

今回、大嶋が選んだのは、アウトラップ後の計測1周目でアタックするという作戦。タイヤに厳しいオートポリスでは、アタック周の後半でニュータイヤの良いところが失われてしまう傾向にあった。そこで、ニュータイヤの良い部分をしっかりと使おうという作戦

だ。ただチェッカー直前のアタックで、チャンスは一度しかない。

大嶋は残り3分というタイミングでコースインすると、しっかりとタイヤを温め、セクター1からグリップをしっかりと発揮しアタックしていく。大嶋は1分25秒339というタイムをマークするが、終わってみれば8番手。惜しくもQ2はならなかった。「作戦は良かったと思っています。ただ『あとちょっと』が足りない」と大嶋は予選を振り返った。「今まででいちばん感触は良いので、決勝で追いつかれるはず」と大嶋は翌日の決勝に向けて前を向いた。

第4戦 決勝レース

5月22日(日) 天候:晴れ 路面:ドライ

予選日までは雲が多かったオートポリスだが、迎えた5月22日(日)の決勝日は、朝から晴天となった。気温もどんどん上がり、午前10時15分から行われた30分のフリー走行は気温17℃、路面温度31℃というなか行われた。Q2進出はならなかったが、このオートポリスでのレースは荒れることも多い。「足掻いていこう」という片岡龍也監督のかけ声のもと、大嶋とdocomo business ROOKIEは決勝に向けたセットアップを行っていった。

予選までもそこまで悪い感触ではなかったフィーリングを改善しようと、セットアップをさらに変更。大嶋は一

度ピットインをこなしながら走行を重ね、1分30秒762というベストタイムをマークし、「かなり良いところまで来た」と好感触を得ていた。

迎えた午後2時30分からの決勝。15番手からスタートした大嶋は好発進を決めると、1コーナーで間に挟まれ行き場を失いながらも、2ポジションアップを果たす。しかし1周目、3コーナーで起きたアクシデントの車両回収のため、レースはセーフティカーランとなった。さらに4周目のリスタート直後にもクラッシュが起き、二度もセーフティカーが入る波乱の展開となっていく。

レースは10周目にリスタートを迎えるが、直後の1コーナーで、大嶋のアウトから#19 関口雄飛が仕掛けてくる。コクピットの大嶋はフィーリングも良く、2～3コーナーへの攻防で関口を退ける走りをみせた。「なんとかこらえて、3コーナーで『もう退いただろう』と思った」という大嶋だったが、相手は退いておらず、フロントウイングが大嶋の左リヤタイヤをカットしてしまった。

タイヤパンクチャーに見舞われた大嶋は第1ヘアピンで姿勢を乱しコースオフ。しかし、なんとかコントロールすると、緊急ピットインを行った。ちょうどピットウインドウはオープンして



おり、ダメージを最小限にすることも可能だ。ただ、ピットではパンクチャーへの対応が整っておらず、ジャッキアップに時間を要してしまうことに。遅れが大きくなってしまった。

なんとか作業を終え大嶋はコースに復帰するが、遅れは決定的。ただピットアウト後、大嶋のペースは上位陣と比べても遜色なく、着実にラップをこなしていく。しかし30周を過ぎる頃になると、後方からトップ集団が近づいてきた。悔しいラップダウンだが、大嶋はブルーフラッグを遵守し道を譲る。ただ、そうするとコースの汚れた部分を走ることで、大嶋のラップタイムは大きく落ちてしまった。

大嶋は41周を走りきり、15位でフィニッシュ。感触も良かっただけに、ポイントは十分可能だった。事実、序盤に大嶋のまわりにいたライバルが入賞しているのだ。得意コースだっただけに、大嶋は「正直悔しいです」と語った。とはいえ今回の収穫は多い。あとは結果に繋げるだけだ。



第4戦 ドライバー／監督コメント

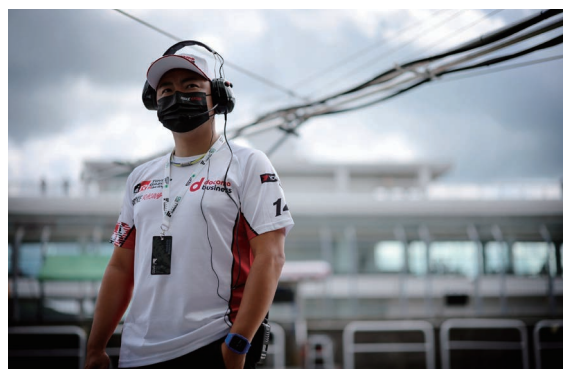


DRIVER

大嶋 和也

Kazuya OSHIMA

「フリー走行で感触を確認し、悪いものではなかったのですが、さらに良いものをと変更していったセットアップのフィーリングがすごく良く、決勝に向けてかなり良いところまでもっていくことができました。スタートも良かったですが、2台に挟まれて少し引いたかたちになりました。その後もペースも良く、戦える感触を得ていたのですが、運悪く接触し、相手のウイングが当たってタイヤが切れてしまいました。その後もペースは悪くなかったのですが、周回遅れになってしまったことで譲るとさらにペースが悪くなってしまったり……という展開になってしまいました。ポテンシャルはありましたし、ポイントは獲れていたと思います。正直得意なコースで狙っていただけに悔しいですが、この方向性を活かし、次戦こそ前で戦いたいです」

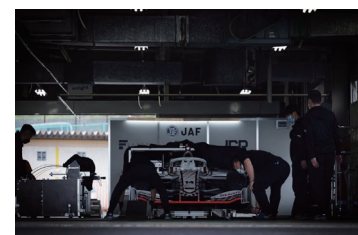


DIRECTOR

片岡 龍也

Tatsuya KATAOKA

「予選ではQ1を通過できるかどうか……というポテンシャルがありましたが、路面の変化に対してのセットアップもますますのところにあな、わずかに足りずQ2進出はならずでした。しかし、そんななか大嶋選手のコメントを通して聞いていると、クルマの安定度があることが感じられたので、決勝日朝の走行で確認しレースに臨みました。タイムも期待どおりのもので、レースも順調に戦っていましたが、接触でタイヤが切れてしまい、緊急ピットインを強いられ勝負権は失ってしまいました。しかしその後もトップグループと遜色ないレースペースでしたし、得点圏は狙えたパフォーマンスはあったと思います。その点では悔しいところはありますが、非常に大きな手ごたえを感じられました。次戦に向けて期待を高めていきたいと思います」



全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 リザルト

5月21日 フリー走行

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'24.613
2	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'24.757
3	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.818
4	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'24.863
5	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.869
6	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'24.905
7	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'24.938
8	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'25.122
9	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'25.259
10	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'25.354
11	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'25.366
12	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.386
13	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	1'25.658
14	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.718
15	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.725
16	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.791
17	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.900
18	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'26.033
19	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'26.049
20	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'27.071
21	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'27.219

5月21日 公式予選

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.529
2	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'24.798
3	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.803
4	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.901
5	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'24.964
6	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'24.966
7	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'24.987
8	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'25.350
9	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'25.368
10	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.408
11	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'25.422
12	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.429
13	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'25.290
14	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'25.404
15	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	1'25.339
16	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'25.480
17	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'25.567
18	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'26.297
19	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.735
20	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	1'27.950
21	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'25.739

5月22日 フリー走行

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'28.735
2	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'29.057
3	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'29.137
4	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	1'29.472
5	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'29.571
6	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'29.799
7	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'29.804
8	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'29.817
9	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'29.958
10	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'29.993
11	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.004
12	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.017
13	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'30.172
14	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.240
15	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.443
16	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.502
17	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'30.649
18	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	1'30.762
19	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	1'31.070
20	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'31.094
	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	No Time

5月22日 決勝レース

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Laps	Gap
1	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	42	
2	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	42	2.310
3	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	42	12.508
4	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	42	21.821
5	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	42	22.391
6	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	42	32.569
7	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	42	33.571
8	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	42	34.647
9	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	42	35.577
10	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	42	36.410
11	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	42	39.718
12	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	42	46.360
13	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	42	58.931
14	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1Lap
15	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	41	1Lap
16	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	41	1Lap
17	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	40	2Lap
R	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	36	6Laps
R	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	4	38Laps
R	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	0	-
R	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	-	失格

2022 年全日本スーパーフォーミュラ選手権ポイントランキング 大嶋和也 (docomo business ROOKIE)：一位 (0 ポイント)

ROOKIE RACING



ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています



DENSO

PONOS



NSK

